

くもとちゅうりっぷ (1943)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 16分

初公開日 1943/04/15

映倫 G

【解説】

太平洋戦争中の1942年に松竹映画動画研究部が製作した、虫たちを擬人化した短編メルヘンアニメの名作。

愛らしいテントウ虫の少女に、伊達男のクモが接近。自分の糸で作ったハンモックに乗らないかと誘った。だがもう日暮れなので、辞退するテントウ虫。彼女はしつこいクモから逃げ回り、チューリップの花の精にかくまわれる。クモは糸で、中のテントウ虫ごと、花をがんじがらめにした。やがてその夜、嵐がやってきて……。

原作は、戦前の児童読物「よい子つよい子」に収録された女流作家・横山美智子の童話。監督・脚本・撮影の三役をこなしたのは、日本初のトーキーアニメ映画『力と女の世の中』（1932年）を製作（原案・監督）した、本邦アニメ文化・躍動期の一大功績者・政岡憲三。約16分の短編ながら、全編にわたる詩情、後半の暴風雨の描写の見事さなどから、政岡の最高傑作として評価を確立。後塵のアニメ作家たちにも多大な影響を与えた。

【クレジット】

監督 政岡憲三

企画 熊木喜一郎

原作 横山美智子

脚本 政岡憲三

撮影 政岡憲三

編集 吉村祥

作詞 横山美智子

作曲 弘田竜太郎

演奏 松竹交響楽団

指揮 弘田竜太郎

歌 村尾護郎

杉山美子

背景 村上博彬

岡本庚